

労働災害の約8割は、停車時に発生

停車中の危険は、すぐ側に

冷蔵倉庫内で転倒編

労働災害(陸上貨物運送業における死傷災害)は約8割が荷役作業中、つまり「車両が停車している時」に発生しています。今回は、トラックに冷凍食品を積み込むため、冷蔵倉庫内で作業をしている際に転倒した災害事例とその対策を紹介します。10月10日は「転倒予防の日」でもあるため、職場での取り組みを再確認しましょう。

災害例

冷蔵倉庫で作業中に転倒

冷蔵倉庫内にて冷凍食品の運搬作業中、庫内の床で足を滑らせ、転倒した。



原因

- 庫内の床に霜が張っており、滑りやすくなっていた。
- 滑りやすい状況に対し、十分な注意・対策をせずに作業をしていた。

対策

- 冷蔵倉庫への出入りを伴う作業の際は、防滑性のある(滑りにくい)靴を履く。
- 床が濡れていないか、霜が張っていないか、凍結していないかなど、床の状況に十分注意を払う。
- 作業時は、膝の曲げ伸ばしによりバランスを取りながら、慌てず、余裕をもった行動を心がける。